

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

| | | | | | | |
|--------|----------------------|--|---|---|---|-----------------------------|
| P T A名 | 静岡県立沼津視覚特別支援学校 P T A | | | | | |
| 学 校 | 対 象 | <input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 | <input type="checkbox"/> 聴覚障害 | <input type="checkbox"/> 知的障害 | <input type="checkbox"/> 肢体不自由 | <input type="checkbox"/> 病弱 |
| | 設 置 部 | <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 | <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 | |
| | 全校児童・生徒数 | 26名 | | | | |

1. 使用状況

| | |
|---------------|--|
| 寄贈物品名 | 電子ピアノ |
| 使用学年及び人数 | 小学部1～6年 9名 |
| 使用頻度 | 毎日（音楽の授業で毎時使用） |
| 使用状況 | <p>今回電子ピアノを設置した教室は、主に幼小学部が集団で活動する際などにも使用する、プレイルームのような教室である。演奏者（主に教員）が、児童の顔を見られる向きで設置できるため、授業時には、児童が各自の椅子を持ってきてピアノの前に馬蹄形に並び、一体感を味わいながら音楽活動を実施している。</p> <p>寄贈いただいたピアノは機能が充実しており、操作も分かりやすいため、身近な楽器の一つとして、教員だけでなく児童生徒まで幅広く有効活用している。</p> |
| 物品の使用による変化や効果 | <p>子どもたちは皆、音楽への興味・関心が非常に高く、授業前の休み時間や昼休みに「ピアノを弾いて欲しい。」「ピアノを弾きたい。」と申し出る姿がみられる。状況に応じて音量を調整したり、ヘッドホンを使用したりして、周りへの音を気にせず弾くことができる点でも、多様な場面で活用できる機会が増えている。</p> <p>グランドピアノやアップライトピアノなどのアコースティックピアノ特有の豊かな音色や弾き心地であるにも関わらず、調律が不要なためメンテナンス費用が抑えられている点でも経済的なメリットも大きいと思われる。</p> |
| 今後の活用の見通しや課題 | <p>3学期には、木の教室で小学部全体の音楽発表会実施を予定している。演奏する形態や、参観者の人数に合わせて電子ピアノを移動させる場合も、移動が可能のため柔軟に対応でき、活動の幅が広がっている。</p> |
| その他希望や所感など | <p>良質な音色で音楽を聴いたり、自由に楽器に触れる機会を提供したりすることで、子どもたちは音感やリズム感を養い、自己表現の手段として音楽を楽しむことができると考える。豊かな表現力の育成のためにも、今後も大切に使用していきたい。</p> |

2. 活用の様子



↑ 音楽の授業:教師の演奏を聴いている様子。

↓ 授業の始まりと終わりの歌:演奏に合わせた身体表現。

